

## ワクモ等対策・忌避剤(エバーシオン・W-214)費用対効果想定表

全国の養鶏農家が年間を通して頭を痛めている「ワクモ・トリサシダニ」による産卵率低下を食い止めるべく忌避剤を使用した場合の費用対効果を想定致します。

1羽の年間産卵量 280～300個  
総生産卵量 17～20kg／年1羽当たり  
※1年半程度で新しい鶏と交代

卵価格(養鶏農家生産価格) 180円/kg

年間生産価格(1羽当たり)  $20\text{kg} \times 180\text{円} = 3,600\text{円} / 1\text{羽}$ 当たり

年間生産価格(10,000羽当たり)  $3,600 \times 10,000\text{羽} = 36,000,000\text{円}$

ワクモ等の寄生による鶏のストレスによる被害・減産割合(想定値) 12.5%程度

参 考 京都府内の養鶏場－被害状況

産卵量／日量 平均61～64g程度

10,000羽程度の養鶏場でワクモの被害により30g(日量)まで低下した月(6月に底)から持ち直し10月まで40gの被害で推移した。

被害の少ない年から比べると5g～10g程度低く推移した。

調査 京都府 中丹家畜保健衛生所

$36,000,000\text{円} \times 12.5\% = 4,500,000\text{円}$ (減産による被害想定額)

これらの状況から「自然素材の防虫忌避剤「エバーシオン・214」別紙のように年間7回程度散布しても十分な費用対効果があると考えます。

## 株式会社シーアンドシー技術情報

鶏卵年間産卵量(全国) 2,507,000t

全国卵用鶏 179,000,000羽

資料及び参考数値

農林水産省 統計部による調査から  
WEB-ZOO鑑より抜粋  
京都府 中丹家畜保健衛生所  
(旧京都府 丹後家畜保健衛生所)